

(参考様式4)

事業所名 ラポールわかたけ

目標達成計画

作成日: 令和 7 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	令和6年度より外出先での家族間交流が持てるよう緩和し、家族行事や冠婚葬祭への参加等出来ているが、地域交流との交流までには至っていない。	グループホームの役割(地域交流／認知症予防／ケアに関する相談)を「出向く」「出掛ける」「招く」事で果たして行く事が出来る。	・感染症に対するリスクへの理解・協力を図る。 ・令和7年度より居室面会へと緩和。 ①「出掛ける」 外出行事の機会を増やす。 町内催(祭)事に参加。 ②「出向く」 地域包括支援センターの職員と協働し、認知症予防啓発に努める。(ミュージック・ケアを展開) 町内老人会等と繋がりを持つ。 ③「招く」 ・ラポカフェ(1回／月)に家族やボランティアを招く。 ・地域交流会を開催する。 ・実習生や職場体験等の受け入れ。 ・市グループホーム連絡会の見学会参加。 ・家族会の開催。	12ヶ月
2	25	火災や地震、水害等想定した避難訓練や、感染症予防と対策(訓練)を行っているが、そこで得た課題(地域協力)を検討し次に活かすまでには至っていない。	日頃からご近所の方と交流を持ち、災害時地域との協力体制が図れる。	①運営推進会議を活用し、消防や区長を含め地域関係者、併設事業所等と防災について話し合い協力体制強化を図る。 ②わかたけ班として町内避難訓練に利用者と共に参加する。 ③職員の防災教育・人材育成(BCPの周知、研修、訓練 ➡運用) ④併設事業所との合同会議等で課題に対し話し合う。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。